

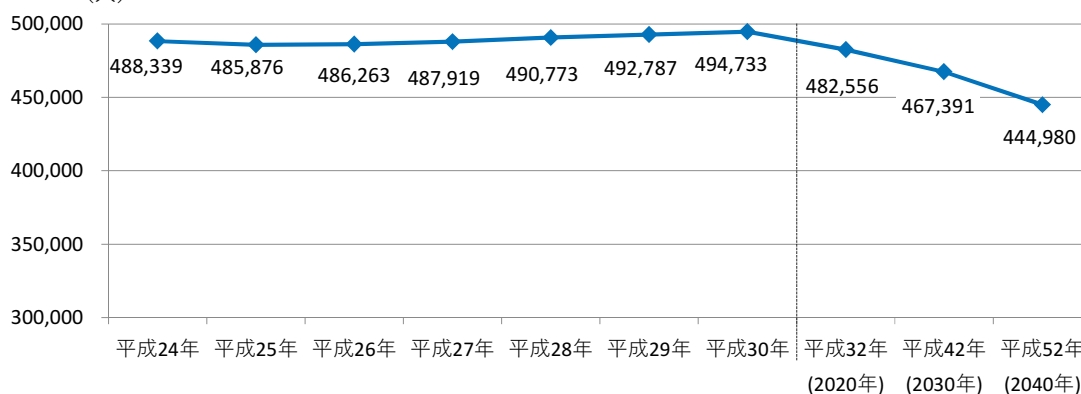
第2章 松戸市の現状

1 統計データ（人口動態・介護保険・国民健康保険等）

（1）人口の推移

本市の人口は、横ばいで推移しており、平成30年3月31日現在494,733人でした。将来的には減少すると推計されています。

図表1 人口の推移
(人)



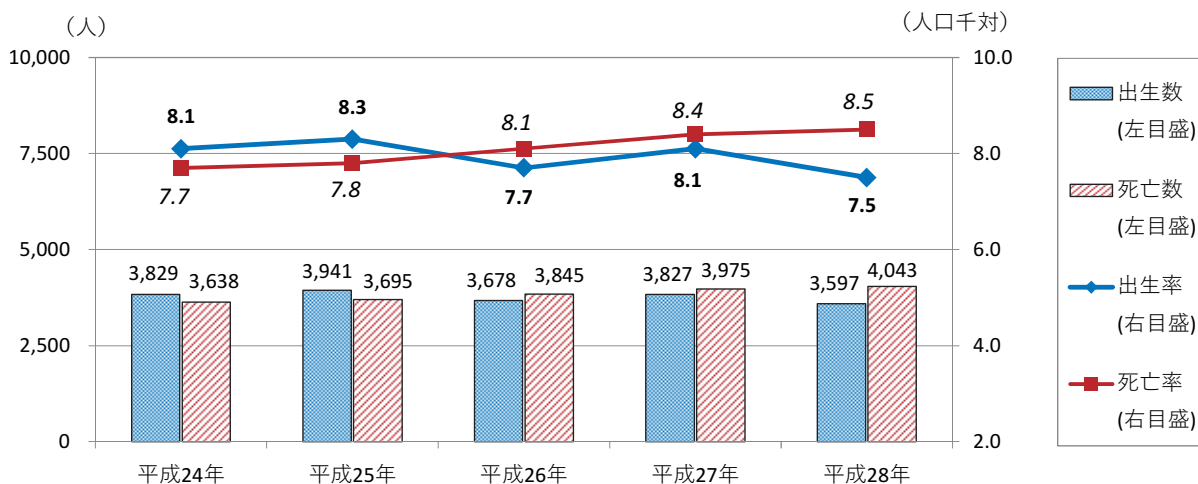
平成24年：住民基本台帳（3月31日現在）と外国人登録人口を合算して算出 ※1
 平成25～30年：住民基本台帳（各年3月31日現在）より算出 ※1
 平成32年以降推計値：国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口』

※1 平成24年7月9日の住民基本台帳法改正により、平成25年3月31日以降は住民基本台帳に外国人住民も含まれる

（2）出生数（率）・死亡数（率）の推移

本市において、出生率は減少傾向、死亡率は増加傾向にあります。平成26年度に初めて死亡率が出生率を上回りました。

図表2 出生数（率）・死亡数（率）の推移

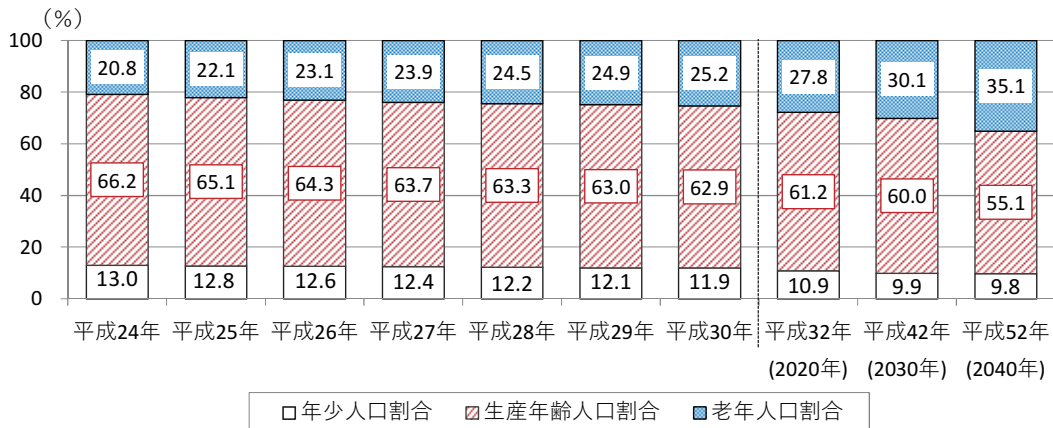


千葉県衛生統計年報

(3) 年齢別構成比の推移

本市の人口割合を年齢階層別に見ると、年少人口割合（14歳以下）と生産年齢人口割合（15歳から64歳）は年々減少しています。老年人口割合（65歳以上）は増加し、4人に1人が高齢者となっています。平成32年には老年人口割合は27.8%になると推計されています。

図表 3 年齢別構成比の推移



平成 24 年：住民基本台帳（3月31日現在）と外国人登録人口を合算して算出 ※1

平成 25～30 年：住民基本台帳（各年 3月31日現在）より算出 ※1

平成 32 年以降推計値：国立社会保障・人口問題研究所 『日本の地域別将来推計人口』

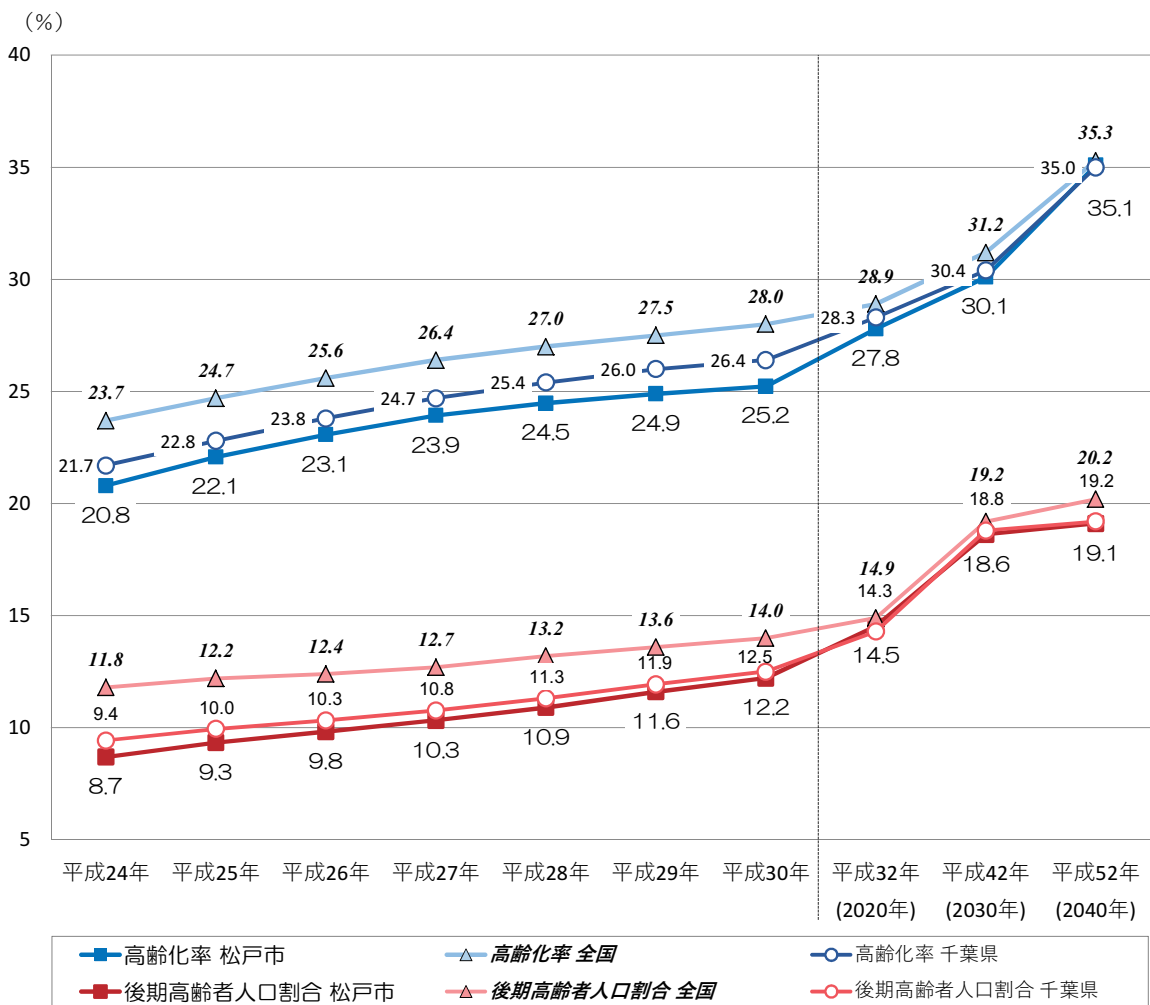
※1 平成 24 年 7月 9日の住民基本台帳法改正により、平成 25 年 3月 31日以降は住民基本台帳に外国人住民も含まれる

(4) 高齢化率・後期高齢者人口割合の推移

本市の高齢化は急速に進んでおり、高齢化率は、平成24年20.8%、平成30年25.2%と4.4ポイント増加しています。さらに、後期高齢者（75歳以上）人口割合も年々増加しており、平成30年は12.2%でした。高齢化率及び後期高齢者（75歳以上）人口割合ともに、全国や千葉県と比較すると、低い割合で推移しています。

今後、本市の高齢化は進み、高齢化率や後期高齢者人口割合は、国や千葉県と同程度の割合となり、その後も同傾向で推移することが予想されています。

図表4 高齢化率・後期高齢者人口割合の推移（全国・千葉県との比較）



松戸市：『千葉県年齢別・町丁目別人口の結果（各年4月1日現在）』より算出（平成24～30年）

千葉県：『千葉県における高齢者人口の推移（各年4月1日現在）』（平成24～30年）

全国：総務省統計局『人口推計（各年4月1日確定値）』（平成24～30年）

各平成32年以降推計値：国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』『日本の地域別将来推計人口』

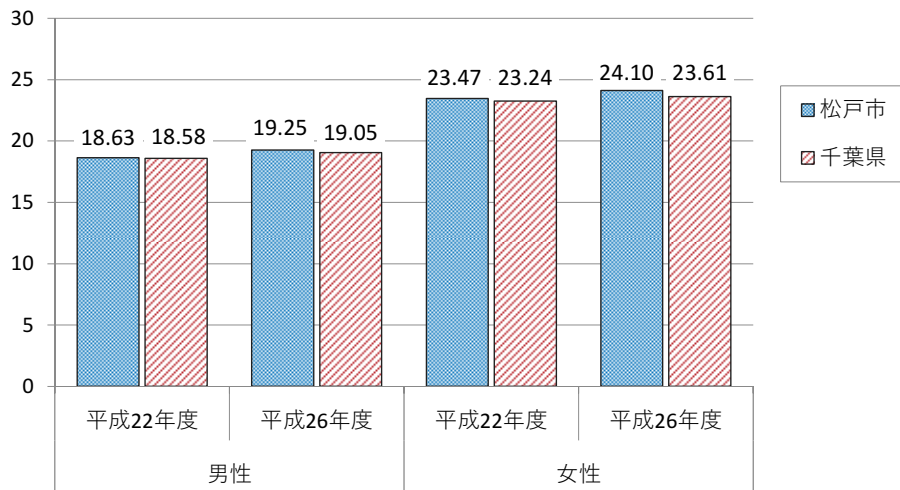
(5) 65歳平均余命及び65歳平均自立期間

本市の65歳平均余命(65歳に達した時から亡くなるまでの平均期間)は、平成26年度で男性19.25年、女性24.10年となっています。

65歳平均自立期間*は、男性17.26年、女性19.94年となっています。

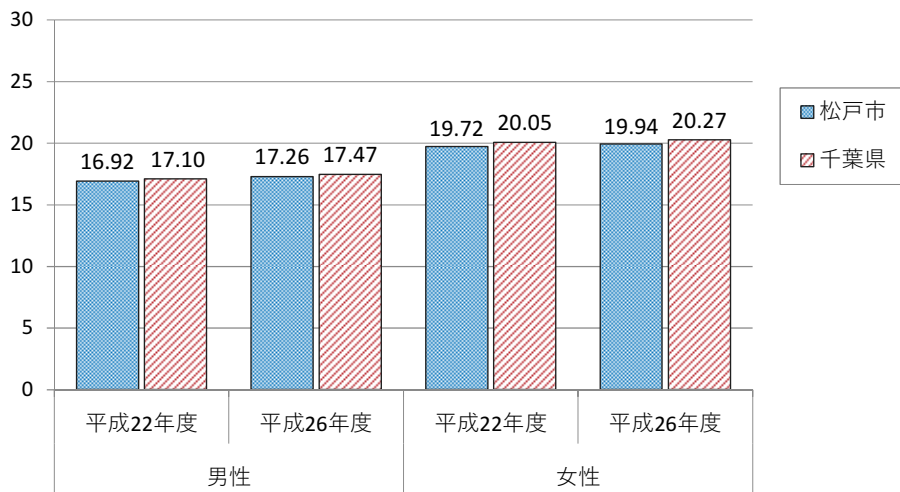
平均余命と平均自立期間の差、すなわち「何らかの介護が必要な状態で生活する期間」は、男性1.99年、女性4.16年となっています。

図表 5 65歳平均余命(千葉県との比較)
(年)



千葉県健康情報ナビ

図表 6 65歳平均自立期間(千葉県との比較)
(年)



千葉県健康情報ナビ

※65歳平均自立期間とは？

65歳の方が、介護保険における要介護2以上の認定を受けるまでの期間の平均であり、いわゆる日常生活に制限のない期間を指します。

(6) 主要死因別死亡割合

本市は、国や千葉県とともに、がん（悪性新生物）の割合が最も高く、次いで心疾患（高血圧性を除く）となっています。本市のがん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）等の生活習慣病による死亡割合は、平成24年の60.4%に対し、平成28年には57.4%と、わずかながら低下しています。

図表 7 主要死因別死亡割合（全国・千葉県との比較）

	平成24年			平成28年		
	松戸市	千葉県	全国	松戸市	千葉県	全国
がん(悪性新生物)	32.2	29.1	28.7	31.1	29.8	28.5
心疾患(高血圧性を除く)	16.2	17.9	15.8	16.6	17.1	15.1
脳血管疾患	9.5	9.6	9.7	7.7	8.1	8.4
肺炎	7.9	10.0	9.9	8.5	9.7	9.1
老衰	4.6	4.7	4.8	6.7	7.0	7.1
不慮の事故	2.7	3.1	3.3	2.3	2.5	2.9
自殺	2.7	2.3	2.1	2.0	1.8	1.6
肝疾患	1.5	1.2	1.3	1.2	1.1	1.2
腎不全	1.4	1.7	2.0	1.6	1.6	1.9
大動脈瘤及び解離	1.1	1.2	1.3	1.3	1.5	1.4
糖尿病	1.3	1.2	1.2	0.8	0.9	1.0
COPD(慢性閉塞性肺疾患)	1.2	1.2	1.3	1.2	1.0	1.2
その他	17.8	16.7	18.7	18.9	17.9	20.5

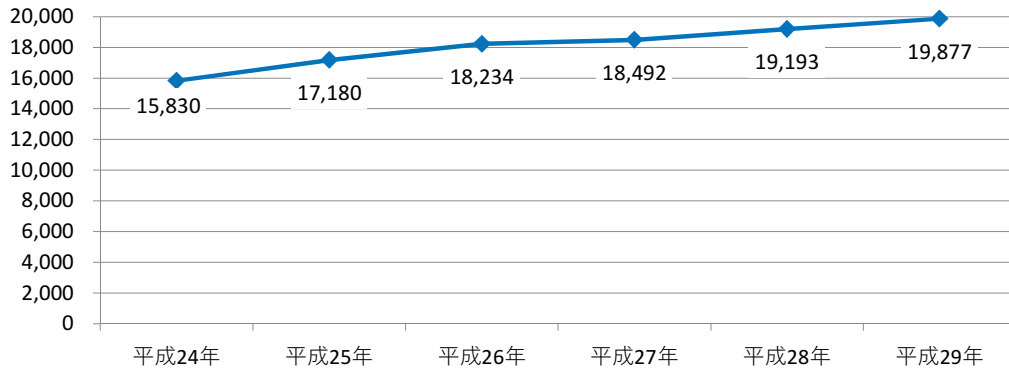
がん+心疾患(高血圧性を除く)+脳血管疾患+糖尿病+COPD(慢性閉塞性肺疾患)	60.4	59.0	56.7	57.4	56.9	54.2
--	------	------	------	------	------	------

全国：平成24・28年人口動態統計（厚生労働省）
 松戸市・千葉県：平成24・28年千葉県衛生統計年報
 ※全死因の分類はICD-10（第10回死因簡単分類）により記載

(7) 介護保険要支援・要介護認定者数の推移

本市の介護保険要支援・要介護認定者数は年々増加し、平成29年は19,877人になり、平成24年から約1.3倍となっています。

図表 8 介護保険要支援・要介護認定者数の推移
(人)



各年10月1日現在 介護保険事業状況報告

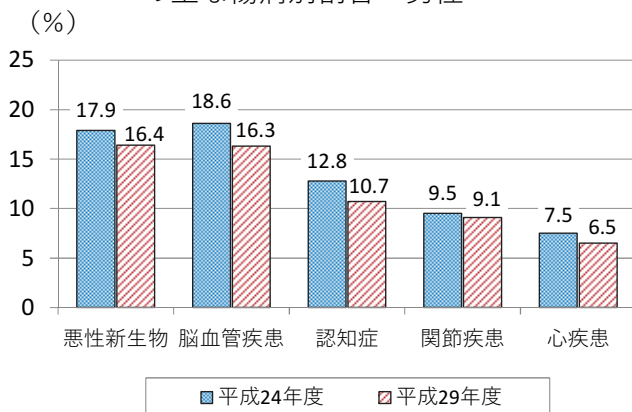
※平成27年からの介護予防・日常生活支援総合事業対象者は含まず

(8) 新規介護保険要支援・要介護認定者の主な傷病別割合

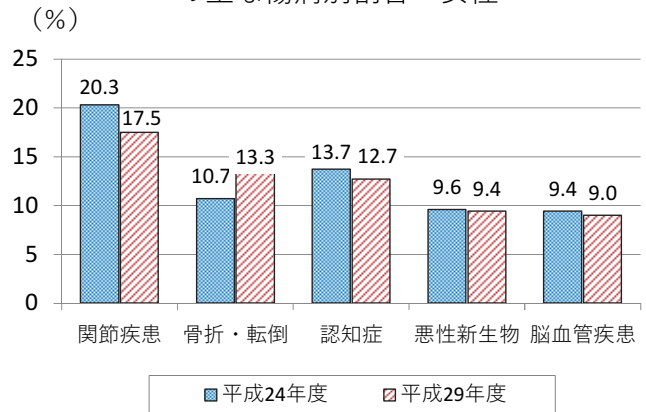
本市の新規介護保険要支援・要介護認定者の主な傷病割合は、男性では「悪性新生物」と「脳血管疾患」で、女性では「関節疾患」と「骨折・転倒」で、それぞれ30%を超えています。

女性は、「骨折・転倒」の割合が「認知症」の割合を上回り、ロコモティブシンドロームに関連する「関節疾患」、「骨折・転倒」が上位1位2位となっています。

図表 9 新規介護保険要支援・要介護認定者の主な傷病別割合 男性



図表 10 新規介護保険要支援・要介護認定者の主な傷病別割合 女性



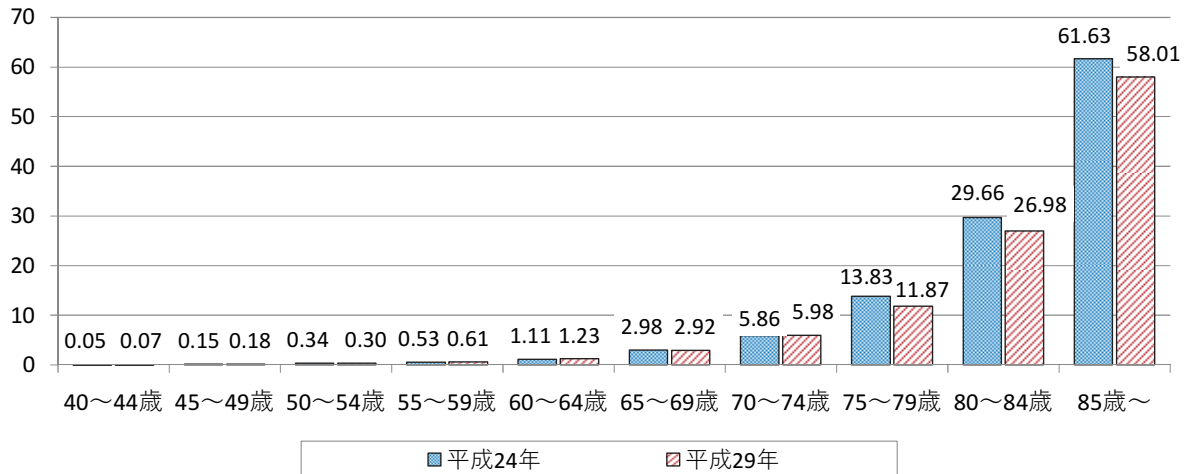
平成24年度 『健康松戸21Ⅲ』より抜粋

平成29年度 松戸市介護認定審査会資料(主治医意見書)より事務局が独自に作成(偶数月のみ集計)

(9) 年齢階層別介護保険要支援・要介護認定者率

本市の年齢階層別介護保険要支援・要介護認定者率は、70歳以降急速に上昇していきます。85歳以上では50%以上の人が認定を受けています。平成24年と平成29年（介護予防・日常生活支援総合事業対象者は含まず）を比較すると、75歳以降の認定者率は減少しています。

図表 11 年齢階層別介護保険要支援・要介護認定者率 (%)

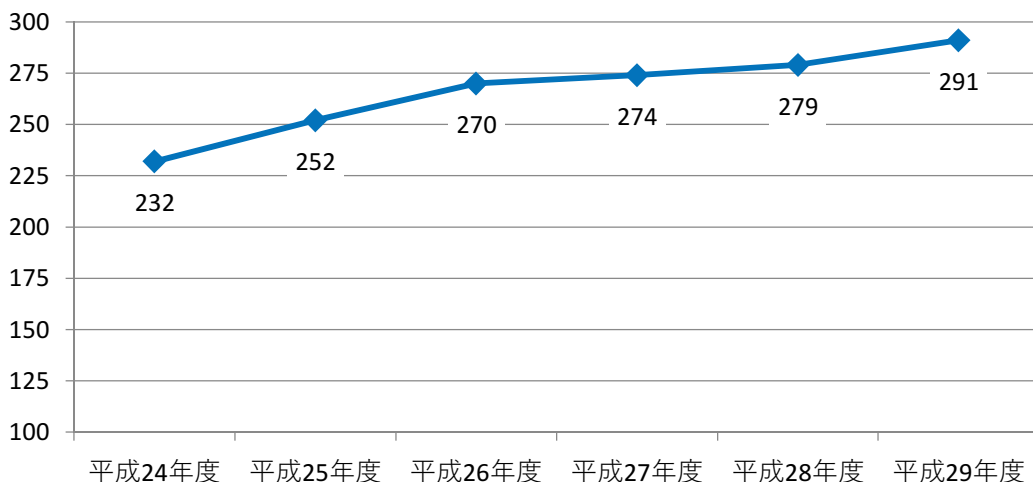


平成 24・29 年：松戸市住民基本台帳（各年 10 月 1 日）、
松戸市介護保険データ（各年 10 月 1 日に認定有効な人）より算出
※平成 27 年からの介護予防・日常生活支援総合事業対象者は含まず

(10) 介護保険給付費総額の推移

本市の平成 24 年度の介護保険給付費は約 232 億円でしたが、平成 29 年度は約 291 億円となっており、年々増加しています。

図表 12 介護保険給付費総額の推移 (億円)



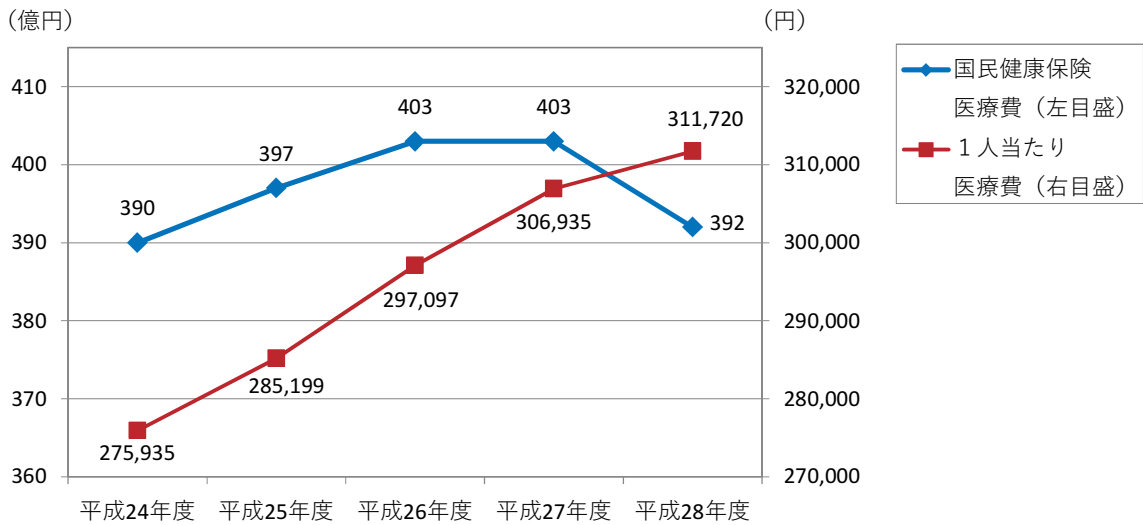
松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算書

(11) 国民健康保険医療費の推移

本市の国民健康保険医療費は、平成 24 年度の総額約 390 億円から平成 26 年度には約 403 億円と増加傾向にありましたが、平成 28 年度は約 392 億円と減少に転じています。これは、平成 28 年 10 月から被用者保険の適用対象者が拡大され、短時間労働者が被用者保険へ移行したことが要因の一つとして挙げられます。

一方、1 人当たりの給付額（年額）は、平成 24 年度の約 28 万円から平成 28 年度は約 31 万円と、年々増加しています。

図表 13 国民健康保険医療費の推移
(億円)



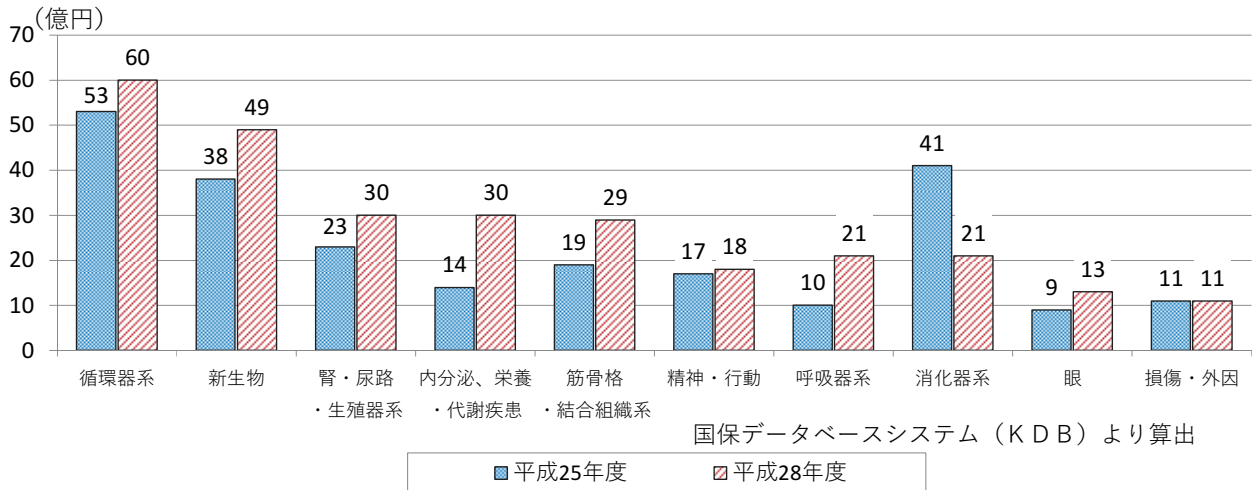
平成 24 年度：国民健康保険事業状況報告書（事業年報）より算出

平成 25 年度以降：松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第 2 期データヘルス計画』

(12) 国民健康保険疾病分類別医療費（大分類）

本市の平成 28 年度国民健康保険疾病分類別医療費（大分類）が最も高い疾病は循環器系で、約 60 億円となっています。循環器系の主な疾患としては、高血圧症、虚血性心疾患に加え、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等の脳血管疾患があります。

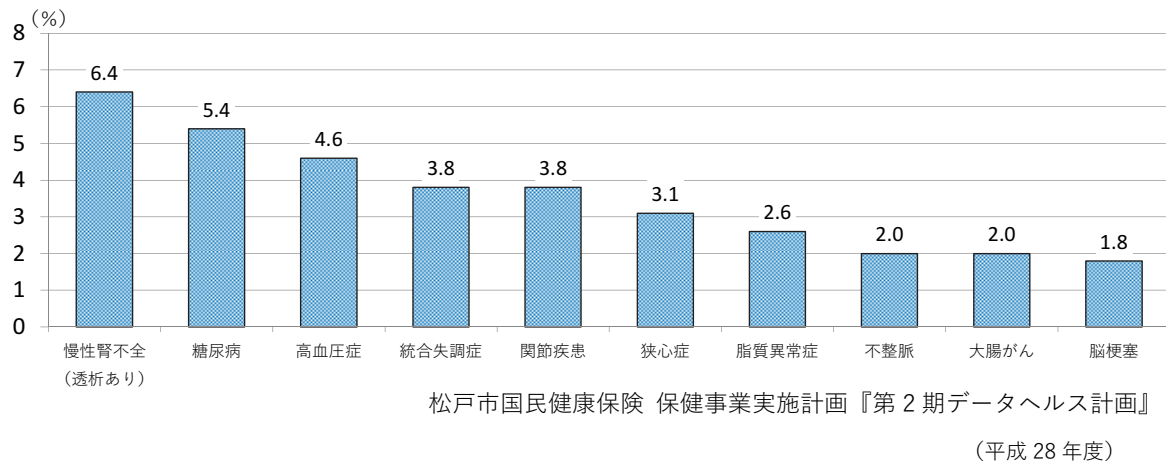
図表 14 国民健康保険疾病分類別医療費（大分類）



(13) 国民健康保険疾病分類別医療費の割合（細小分類）

本市の平成 28 年度国民健康保険疾病分類別医療費（細小分類）における医療費の割合が高い疾病は、慢性腎不全（透析あり）が 6.4%、糖尿病が 5.4%、高血圧症が 4.6%の順となっています。

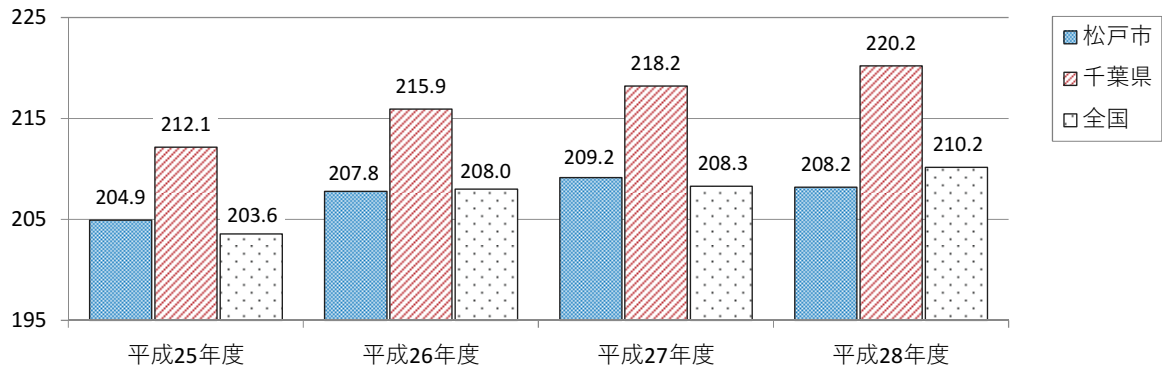
図表 15 国民健康保険疾病分類別医療費の割合（細小分類）



(14) 国民健康保険加入者における糖尿病患者数の推移

本市の国民健康保険加入者における糖尿病患者数は、国と比較すると同程度ですが、千葉県と比較すると低い傾向にあります。

図表 16 国民健康保険加入者における糖尿病患者数の推移（全国・千葉県との比較）
千人当たり（人）



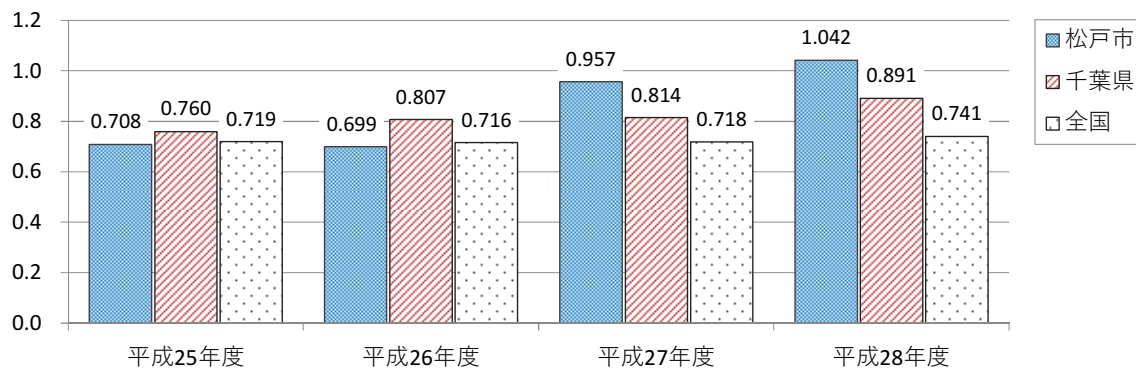
松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第2期データヘルス計画』

(15) 国民健康保険加入者における新規糖尿病性腎症患者数及び人工透析患者数

本市の国民健康保険加入者における新規糖尿病性腎症患者数は、平成26年度に患者千人当たり0.699人から平成28年度は1.042人と増加傾向にあり、平成27年度以降、国や千葉県を上回っています。

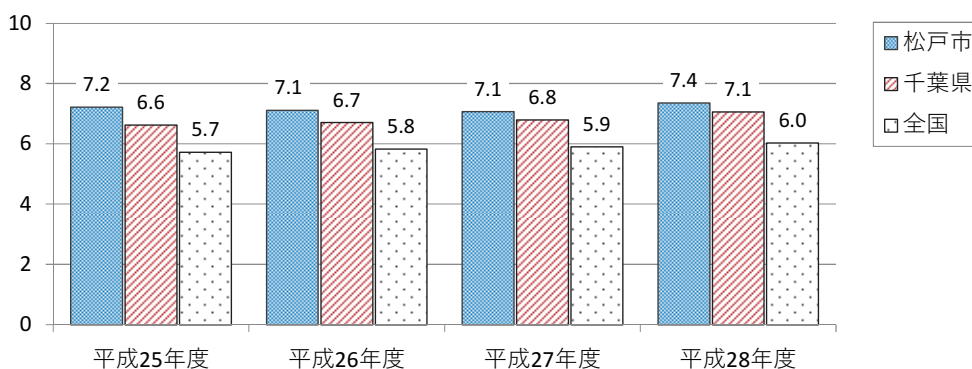
人工透析患者数においては、横ばいで推移しているものの、国や千葉県と比較すると多い状況は続いています。

図表 17 国民健康保険加入者における新規糖尿病性腎症患者数の推移（全国・千葉県との比較）
千人当たり（人）



松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第2期データヘルス計画』

図表 18 国民健康保険加入者における人工透析患者数の推移（全国・千葉県との比較）
千人当たり（人）



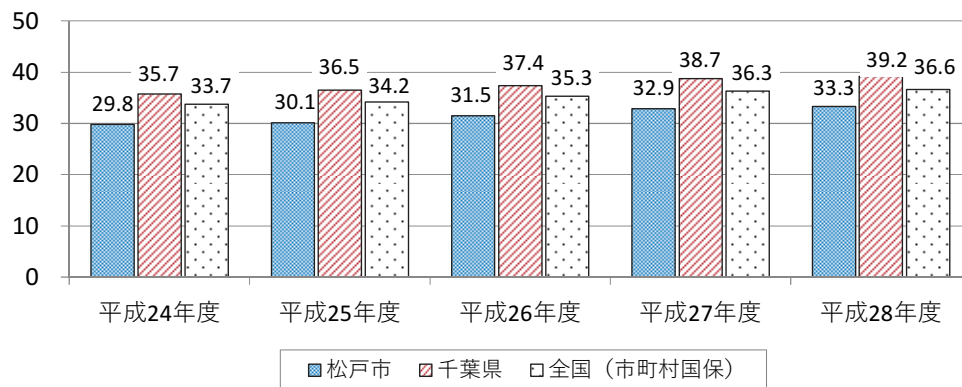
松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第2期データヘルス計画』

(16) 特定健康診査受診率

本市の平成28年度の特定健康診査受診率は33.3%であり、年々増加傾向となっていますが、国や千葉県と比較すると低い状況は続いています。

また、9管区別受診率では、全ての管区で30%を超え、年齢階層別受診率では、男女共に受診率が向上しています。

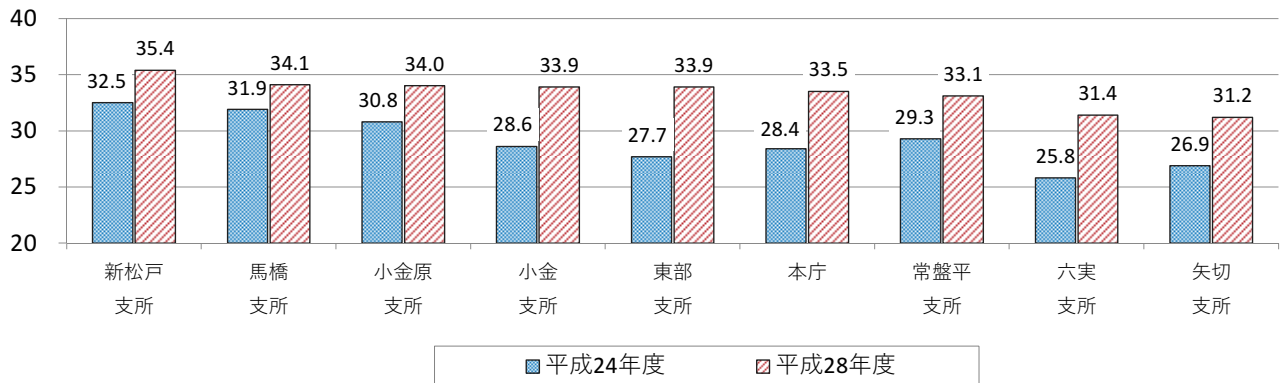
図表 19 特定健康診査受診率（全国・千葉県との比較）
（%）



松戸市・千葉県：松戸市国民健康保険課データ

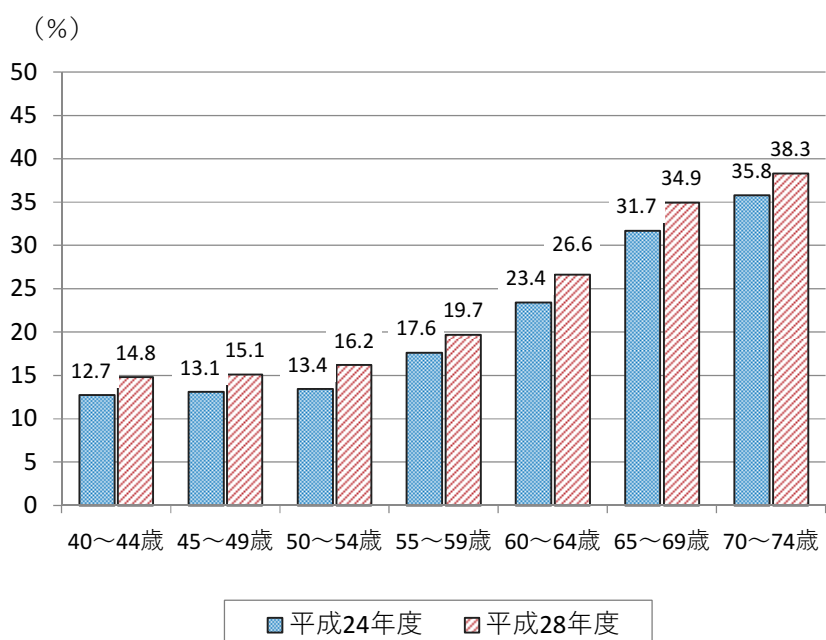
国：厚生労働省『2016年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況』

図表 20 特定健康診査9管区別受診率
（%）



松戸市国民健康保険 『第3期特定健康診査等実施計画』

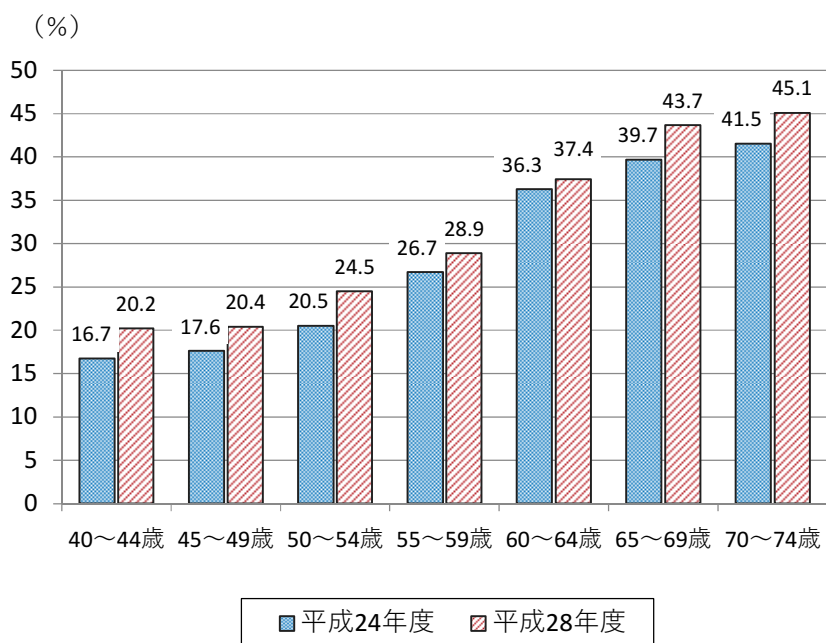
図表 21 特定健康診査年齢階層別受診率（男性）



平成 24 年度：松戸市特定健康診査実施結果より集計

平成 28 年度：松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第 2 期データヘルス計画』

図表 22 特定健康診査年齢階層別受診率（女性）



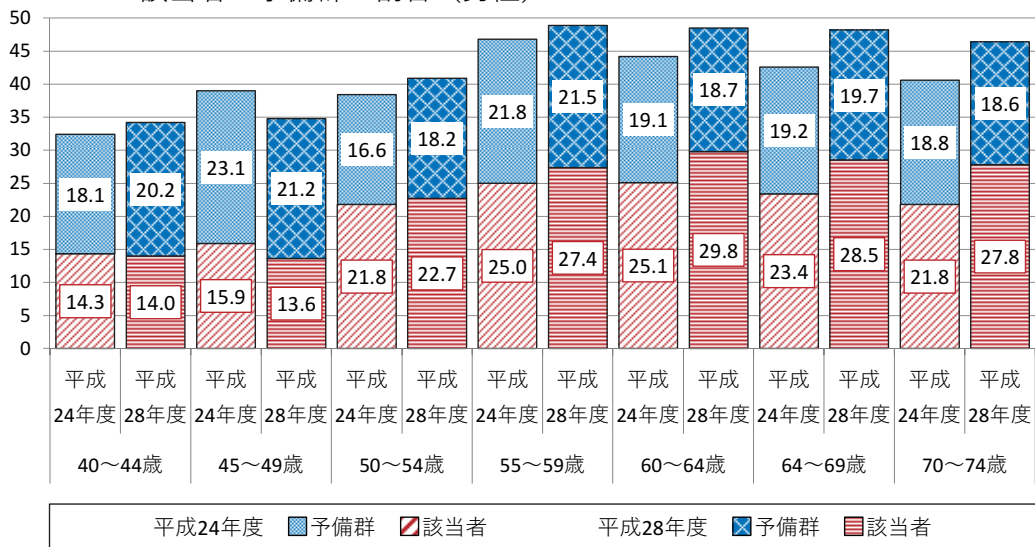
平成 24 年度：松戸市特定健康診査実施結果より集計

平成 28 年度：松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第 2 期データヘルス計画』

(17) 特定健康診査における年齢階層別内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の該当者・予備群の割合

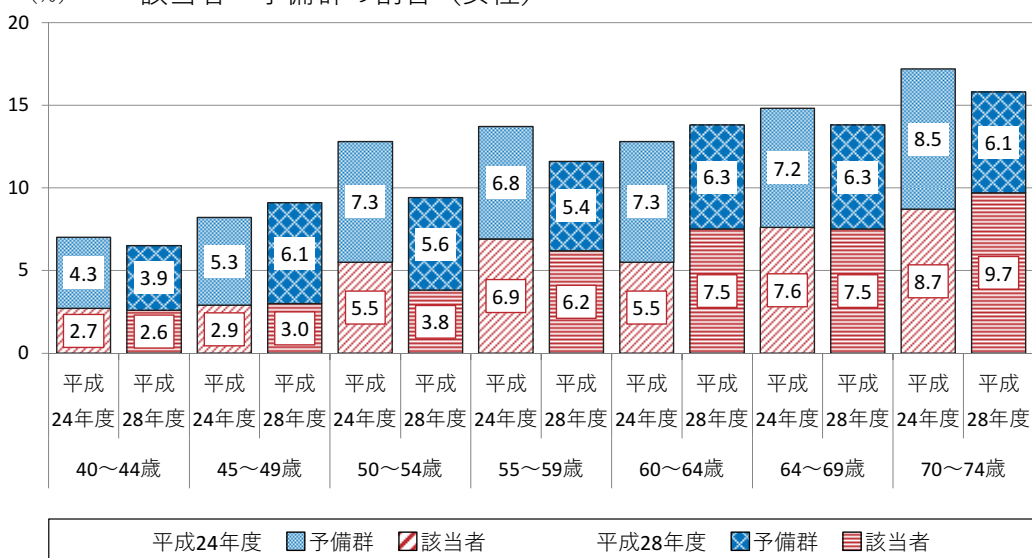
本市では、いずれの年代においても女性より男性の方が内臓脂肪症候群（以下、メタボリックシンドローム）の該当者と予備群の合計が多くなっています。また、男性では55～59歳、女性では70～74歳が最も多くなっています。平成24年度と平成28年度を比較すると、概ね男性では増加傾向、女性では減少傾向でした。

図表 23 特定健康診査における年齢階層別メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合（男性）



国保データベースシステム（KDB）より算出

図表 24 特定健康診査における年齢階層別メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合（女性）

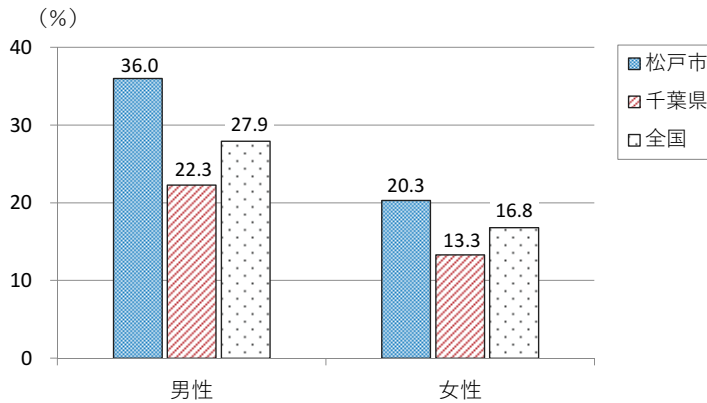


国保データベースシステム（KDB）より算出

(18) 特定健康診査における血糖及び HbA1c※の有所見者割合

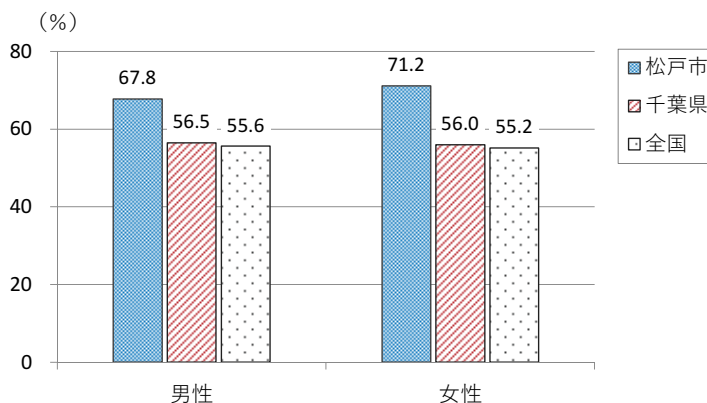
本市の特定健康診査において、糖尿病のリスクが高いとされる血糖や HbA1c の有所見者の割合は、国や千葉県と比べて高くなっています。

図表 25 特定健康診査における血糖有所見者割合（全国・千葉県との比較）



(有所見者判定値：空腹時血糖 100 mg/dl 以上)
松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第 2 期データヘルス計画』
(平成 28 年度)

図表 26 特定健康診査における HbA1c 有所見者割合（全国・千葉県との比較）



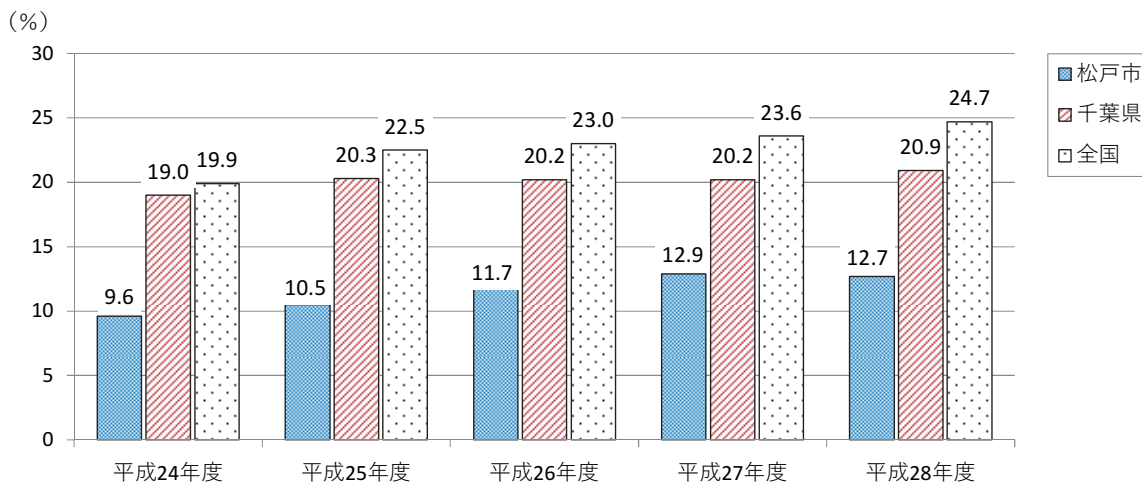
(有所見者判定値：HbA1c5.6%以上)
松戸市国民健康保険 保健事業実施計画『第 2 期データヘルス計画』
(平成 28 年度)

※HbA1c（ヘモグロビン・エーワンシー）とは？
赤血球のヘモグロビンのうちどれくらいの割合が糖と結合しているかを示す値で、過去 1～2 ヶ月間の血糖の状態を表しています。糖尿病の指標として重要な数値です。

(19) 特定保健指導実施率の推移

本市の特定保健指導実施率は増加傾向でしたが、平成 28 年度は減少に転じています。国や千葉県の実施率と比べて低い状況は続いています。

図表 27 特定保健指導実施率の推移（全国・千葉県との比較）



松戸市・千葉県：松戸市国民健康保険課データ
 全国：厚生労働省『2016年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況』

(20) がん検診受診率の推移

本市のがん検診受診率は、乳がん検診以外、若干減少傾向にあります。胃がん検診の受診率は他のがん検診と比較して特に低くなっています。

図表 28 がん検診受診率の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
肺がん検診	27.8	24.9	24.7	24.9	24.3	24.6
大腸がん検診	25.6	23.1	22.9	24.1	22.6	21.6
胃がん検診	12.7	11.2	9.6	9.3	8.0	8.4
子宮がん検診	32.3	31.5	31.4	30.5	31.6	31.7
乳がん検診	41.8	39.1	39.5	37.9	40.5	44.0

健康推進課事業概要

P7～P22に記載の統計データは、『健康松戸 21Ⅲ』策定時と現時点の直近値を比較し、本市の現状や傾向を把握するためのものであり、データ抽出が困難なものや本市データと比較できないものは除いています。そのため、各統計データによって比較対象や掲載年度が異なります。

2 「健康づくり」に関する市民アンケート調査の結果

(1) 調査対象

平成 29 年 11 月 1 日現在、松戸市在住の満 20 歳以上の市民 5,000 人を住民基本台帳より無作為抽出

(2) 実施期間

平成 29 年 12 月 8 日～平成 30 年 1 月 10 日

(3) 調査項目

受診状況、健康に関することばの認知度、生活習慣、健康状態、属性等 (13 分野 45 問)

(4) 回収結果

1,948 票 (回収率 39.0%)

(5) 調査結果の見方

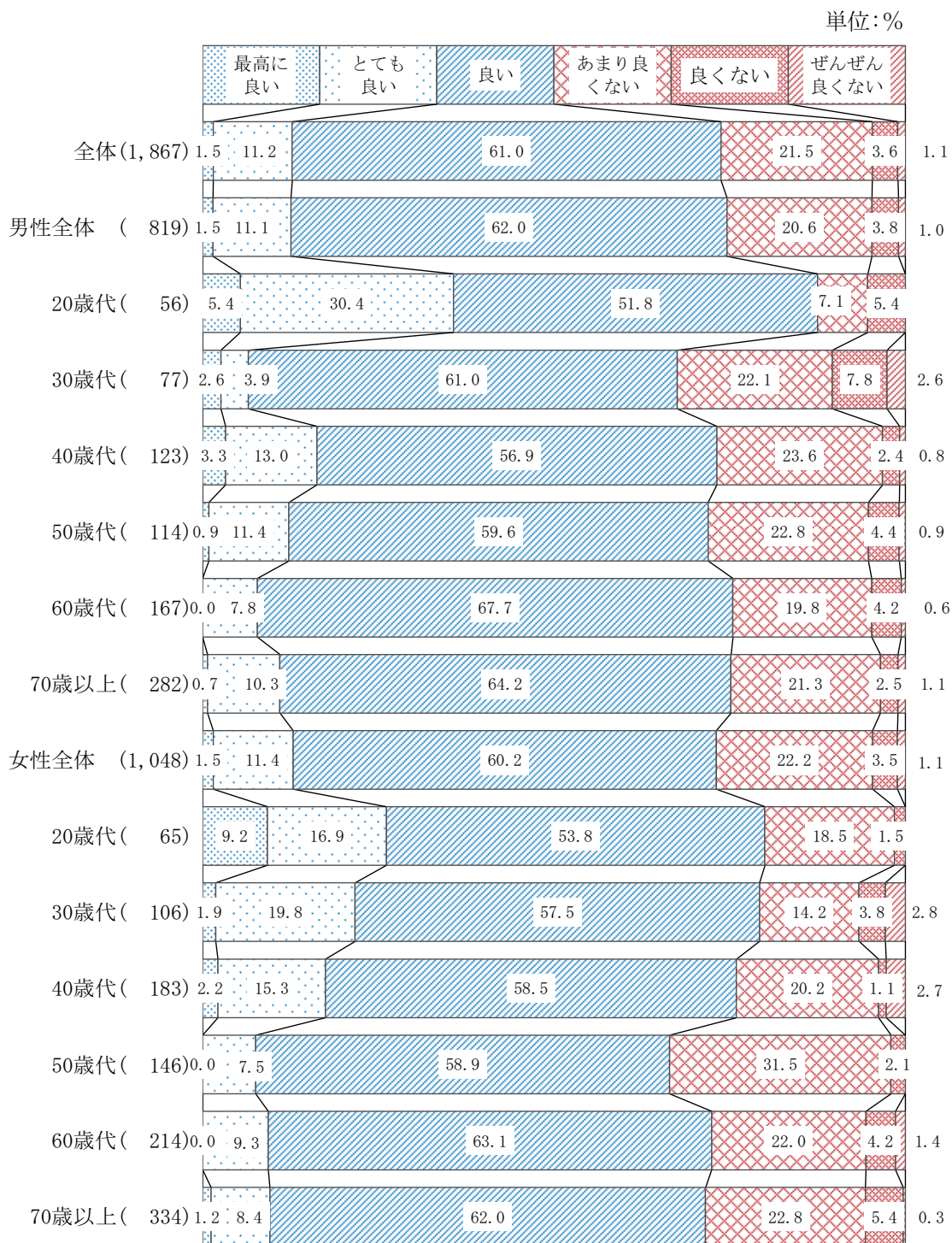
- ◆集計した数値 (%) は小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示しているため、それぞれの数値 (%) を合計しても、100.0%にならないことがあります。
- ◆回答者数を分母として割合 (%) を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100.0%を超えることがあります。
- ◆設問によっては、無回答を除外して集計したものがあります。また、クロス集計表は、該当する属性にあてはまらない回答を除外しているため、合計人数が全体の人数と一致しない場合があります。

*本報告書では、平成 29 年 12 月に実施した健康づくりに関する市民アンケート調査を「市民調査」、平成 25 年 10 月に実施した健康づくりに関する市民アンケート調査を「前回市民調査」と表記します。

1) 過去1か月の健康状態

過去1か月の健康状態については、「最高に良い」、「とても良い」、「良い」を合わせると73.7%であり、性別による大きな差は見られませんでした。

図表 29 過去1か月の健康状態

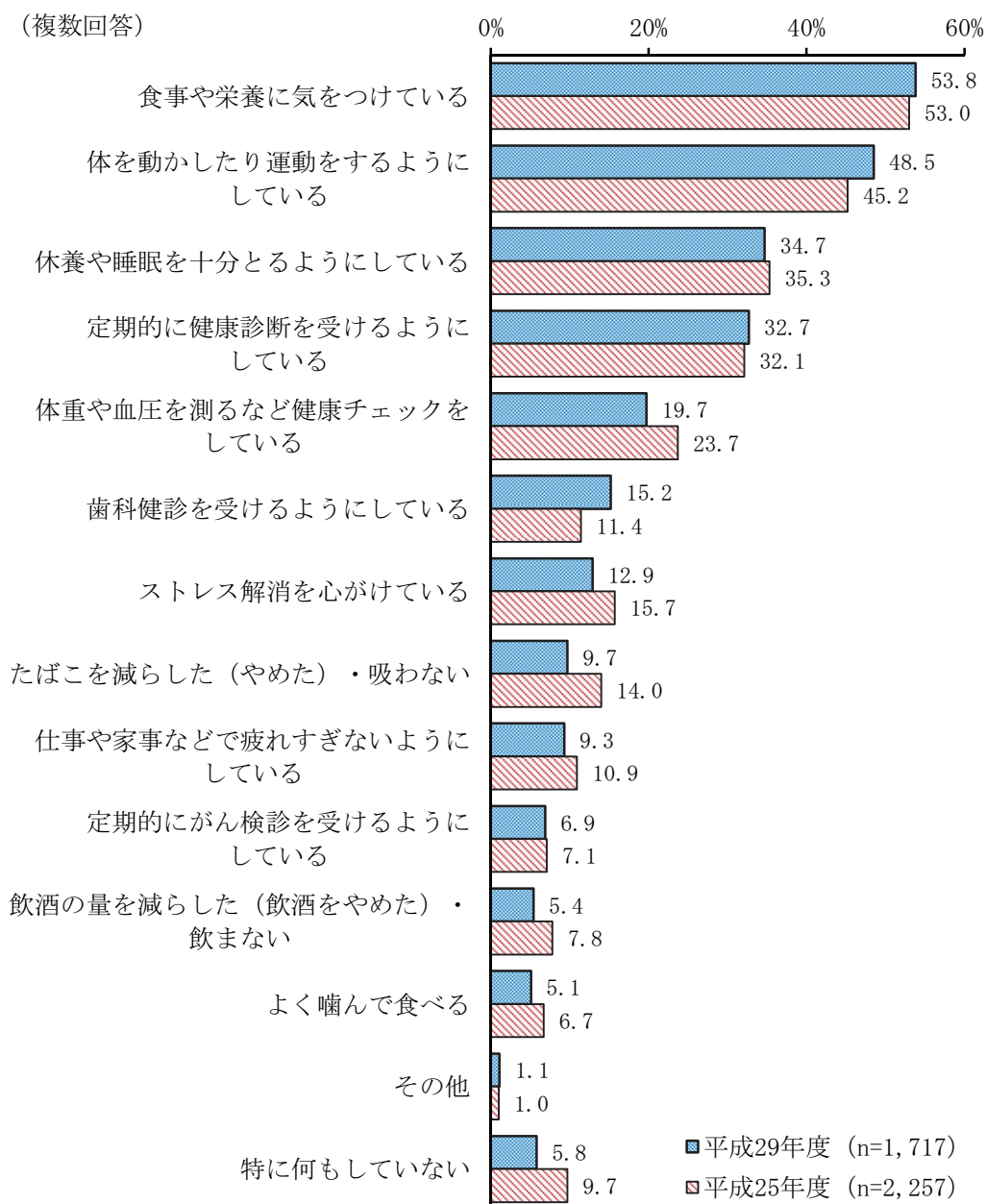


2) 健康のためにやっている（気をつけている）こと

（複数回答：3つまで）

健康のためにやっていることでは、「食事や栄養に気をつけている」、「体を動かしたり運動をするようにしている」、「休養や睡眠を十分とるようにしている」が前回市民調査時と変わらず上位を占めています。また、「特に何もしていない」と回答した割合は、前回市民調査時より減少しています。

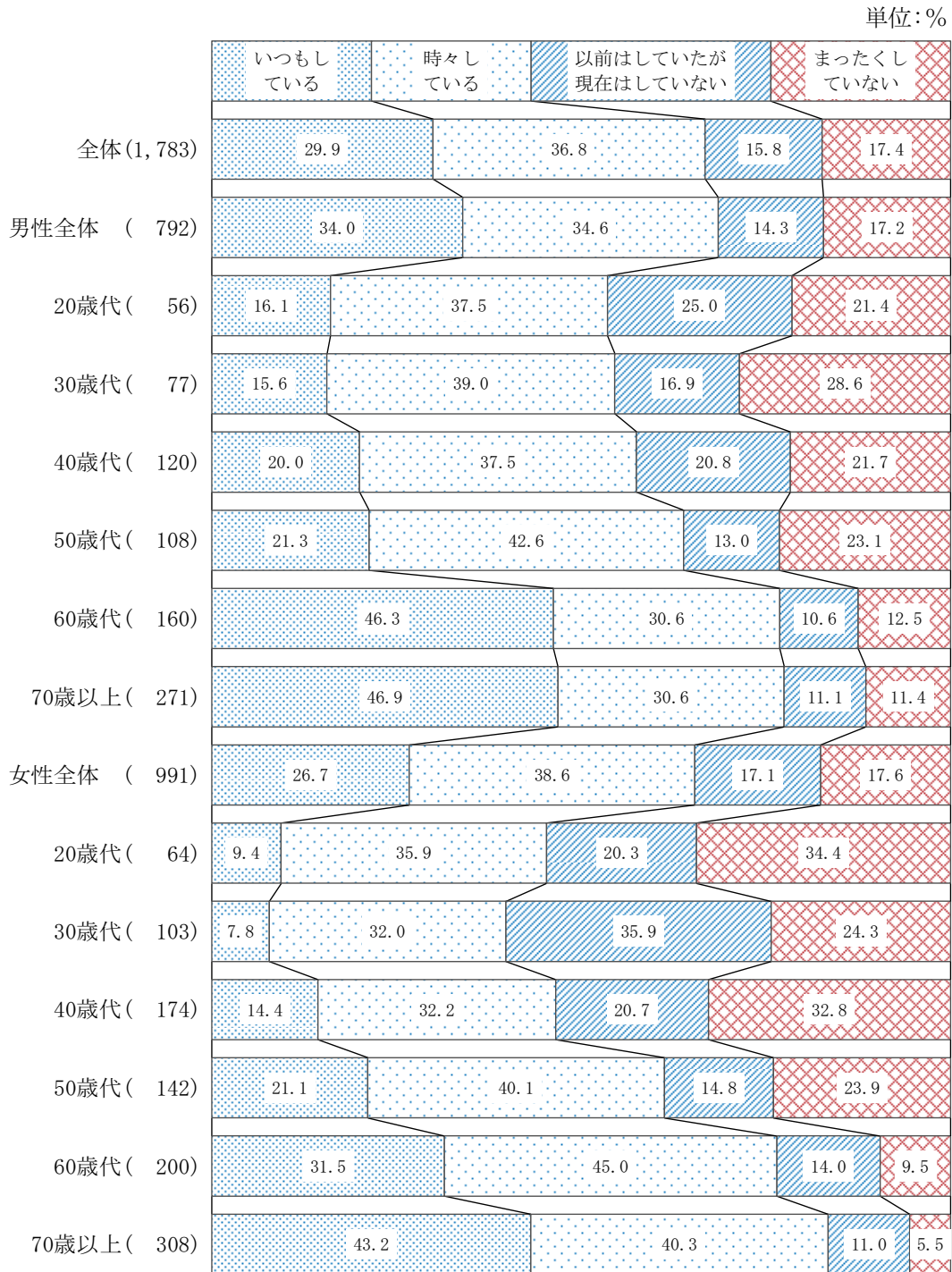
図表 30 健康のためにやっている（気をつけている）こと



3) 日常生活における身体活動（運動）の実施状況

日頃から日常生活の中で意識的に身体を動かしているかについては、「いつもしている」、「時々している」を合わせると66.7%を占めています。

図表 31 日常生活における身体活動（運動）の実施状況

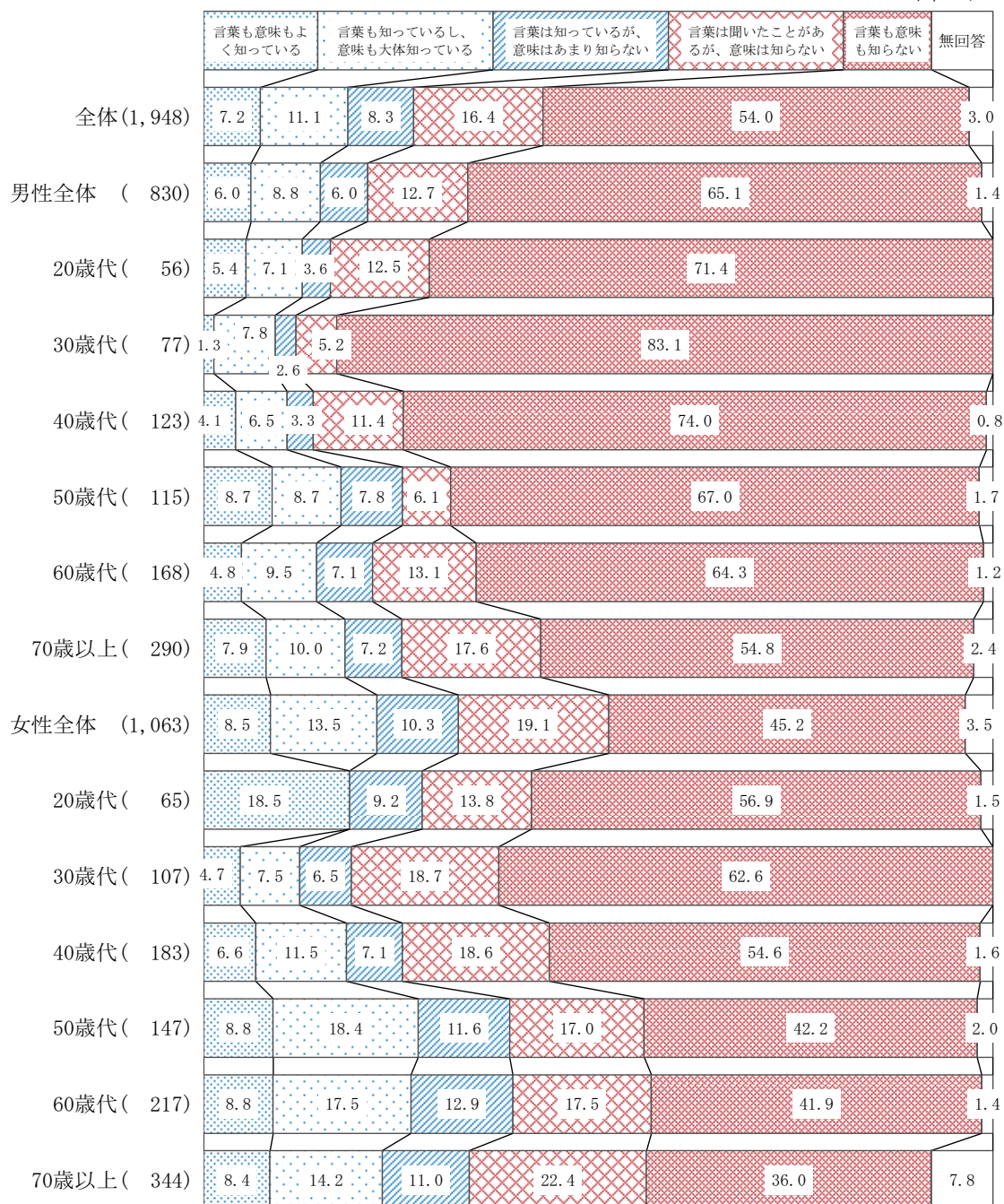


4) ロコモティブシンドローム※の認知度

ロコモティブシンドロームについては「言葉も意味もよく知っている」、「言葉も知っているし、意味も大体知っている」、「言葉は知っているが意味はあまり知らない」、「言葉は聞いたことがあるが意味は知らない」を含めて43.0%でした。女性の20歳代では「言葉も意味もよく知っている」と回答した人が他の年代よりも多くなっています。

図表 32 ロコモティブシンドロームの認知（男女・年齢別）

単位：%

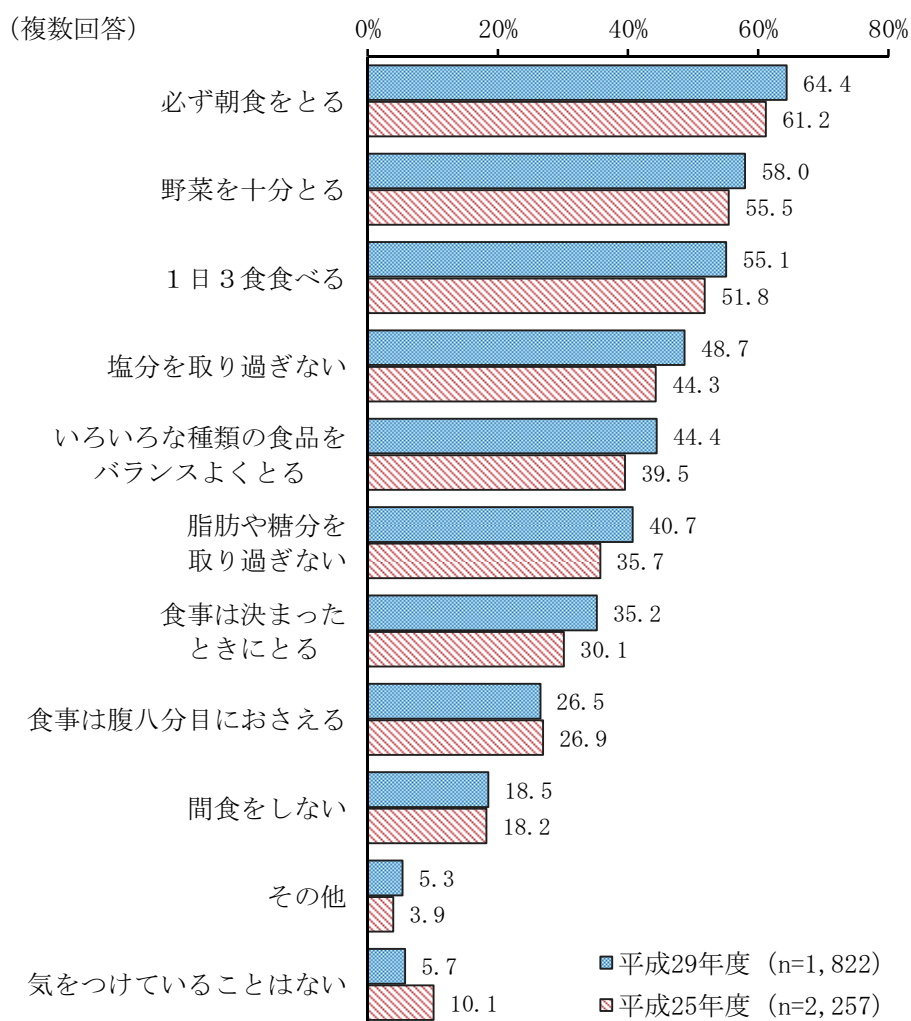


※ロコモティブシンドロームの用語解説は、P 6 参照

5) 食生活で注意していること (複数回答：該当するものすべて)

食生活で注意していることについては、「必ず朝食をとる」、「野菜を十分とる」、「1日3食食べる」が上位を占めています。「気をつけていることはない」と回答した割合は、前回市民調査時より減少しています。

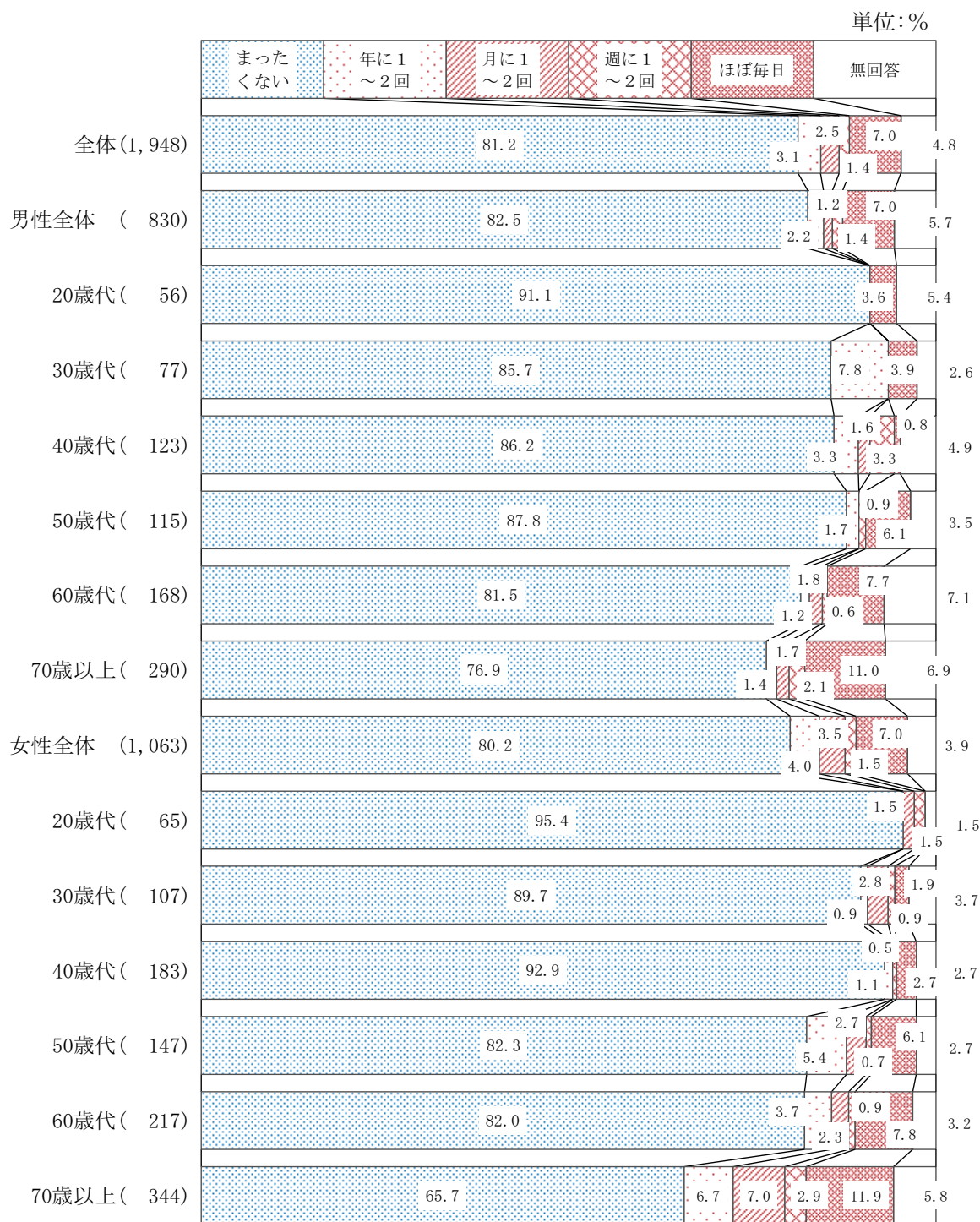
図表 33 食生活で注意していること



6) 睡眠のための内服薬の使用状況

睡眠のための内服薬の使用状況では、「まったくくない」と回答した割合が81.2%を占めています。

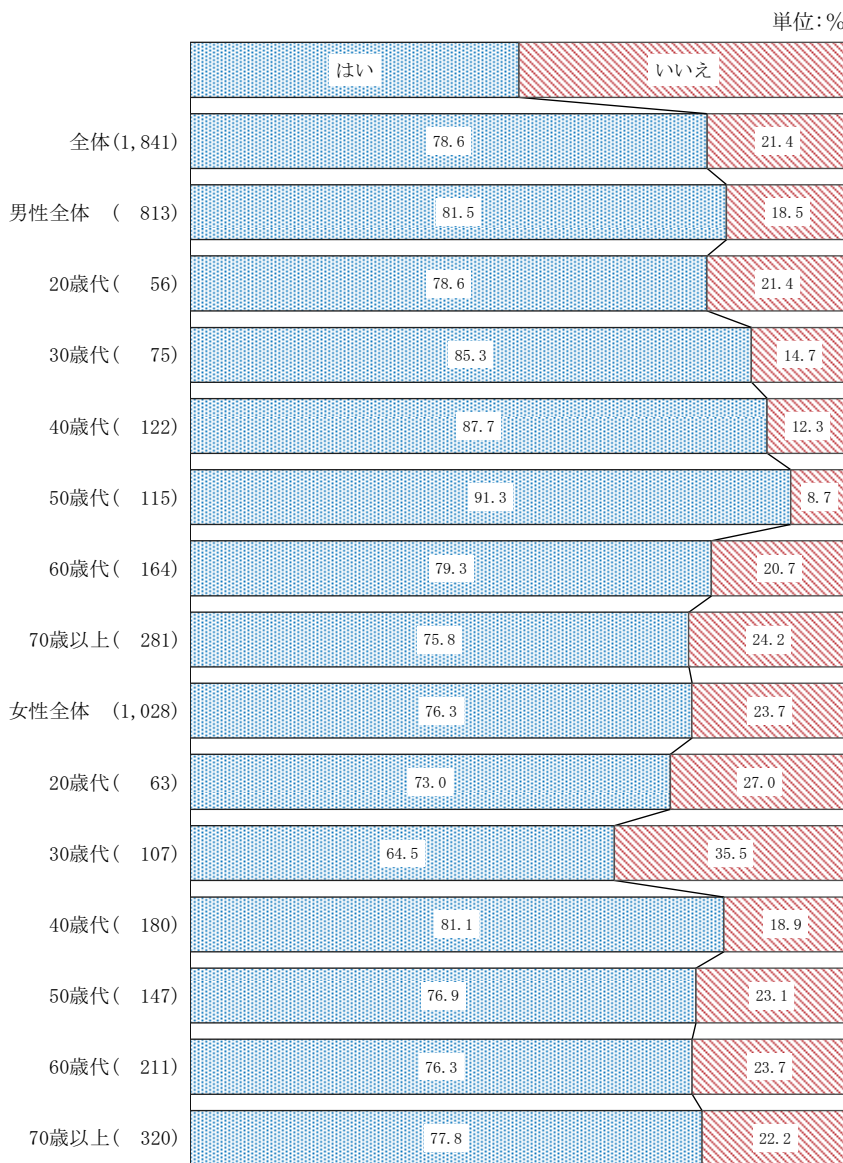
図表 34 睡眠薬や安定剤などの服薬（男女・年齢別）



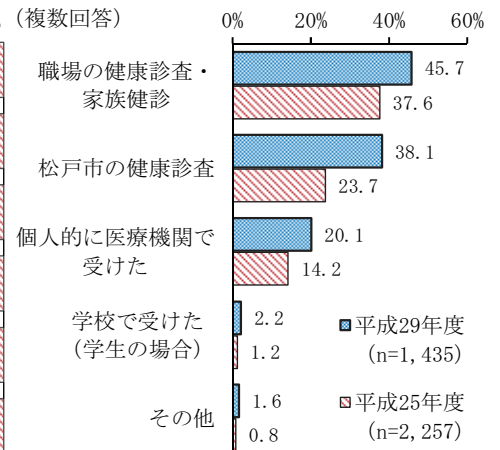
7) 1年間の健康診断の受診状況 (複数回答: 該当するものすべて)

健康診断の受診状況としては、職場の健康診査・家族健診による受診が最も多く、「健診を受けていない」と回答した割合は、21.4%でした

図表 35 健康診断を受診したか



図表 36 健康診断を受けたところ

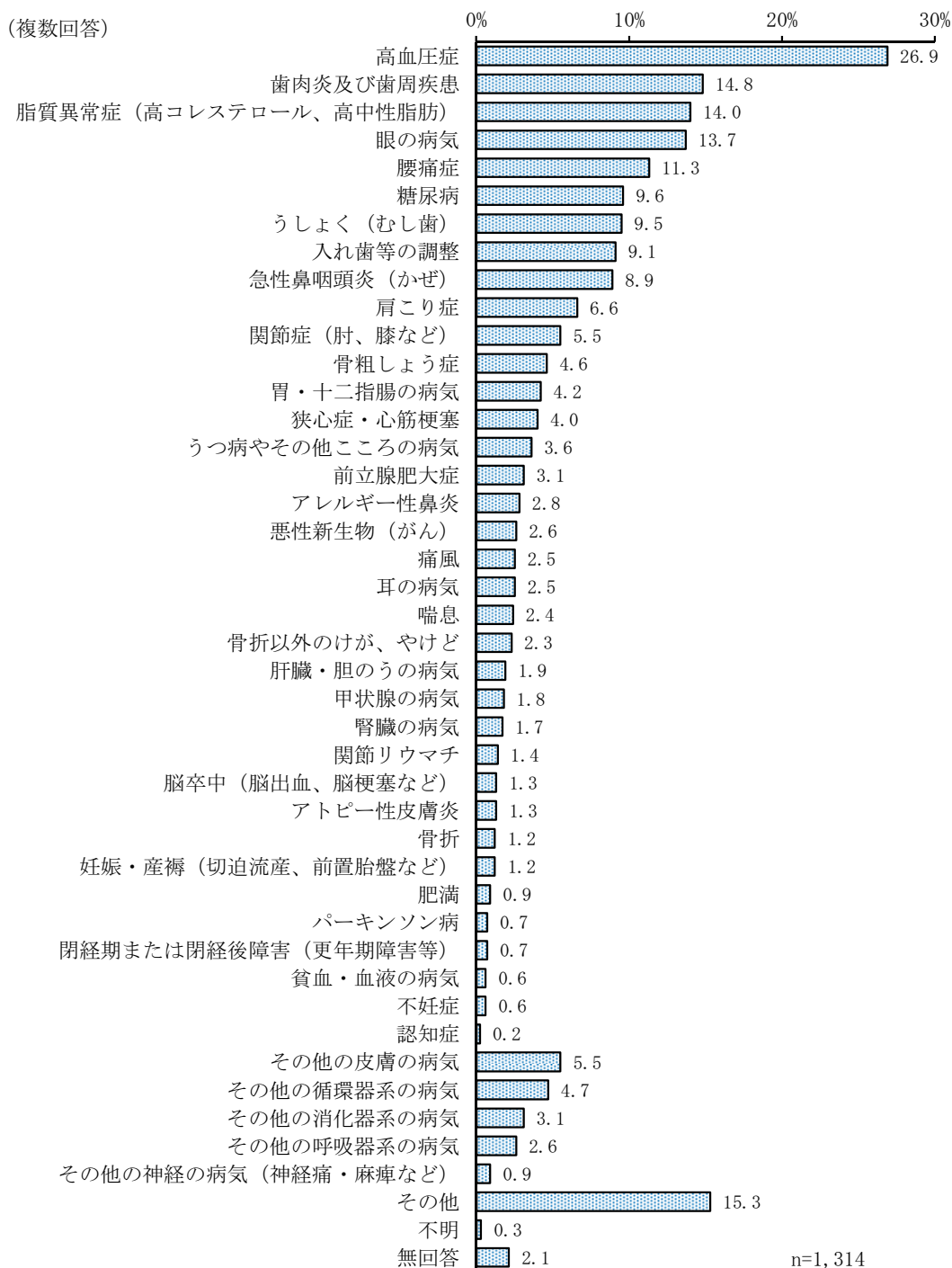


8) 過去1か月間における医療機関の受診状況

(複数回答：該当するものすべて)

過去1か月間の医療機関の受診は、高血圧症のための受診が最も多い状況でした。

図表 37 過去1か月間における医療機関の受診状況



9) 松戸市の保健・医療サービスの認知状況

(複数回答：該当するものすべて)

全体的に女性の方が、男性よりも市の保健・医療サービスの認知度が高い傾向にあります。男女ともに比較的よく知られているサービスは、「がん検診」(男性：57.0%、女性：76.5%)「医療機関マップ」(男性：46.2%、女性：55.2%)等でした。

図表 38 松戸市の保健・医療サービスの認知状況

単位=% n=1,948

	医療機関 マップ		市民 健康相談室		がん検診		成人歯科検診	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全年代	46.2	55.2	31.0	39.9	57.0	76.5	22.9	44.5
20歳代	45.5	40.0	39.4	20.0	42.4	57.8	33.3	26.7
30歳代	19.5	43.3	24.4	38.1	34.1	78.4	19.5	42.3
40歳代	39.8	46.9	9.1	31.3	45.5	78.1	12.5	41.9
50歳代	45.7	57.1	24.7	41.4	49.4	82.0	11.1	45.1
60歳代	47.5	60.5	28.0	45.9	56.8	74.6	17.8	45.9
70歳以上	53.0	62.3	43.1	44.0	70.3	76.5	32.8	48.5
全体	51.6		36.3		68.7		35.9	
前回調査 (全体)	44.8		26.7		47.1		25.7	

単位=%

	妊婦歯科検診		フッ化物 洗口事業		特定健診・ 特定保健指導		スポーツ 推進委員	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全年代	6.1	22.7	1.3	5.3	25.0	25.7	10.8	17.2
20歳代	18.2	26.7	6.1	8.9	6.1	24.4	12.1	6.7
30歳代	17.1	54.6	4.9	10.3	12.2	12.4	7.3	9.3
40歳代	11.4	40.0	2.3	11.3	9.1	18.1	6.8	12.5
50歳代	3.7	16.5	0.0	4.5	23.5	21.1	12.3	15.8
60歳代	2.5	13.0	0.8	3.2	28.8	31.9	7.6	22.7
70歳以上	3.0	10.1	0.4	1.1	34.5	33.2	13.8	21.6
全体	16.1		3.7		25.4		14.7	
前回調査 (全体)					29.8		8.8	

単位=%

	健康推進員や 食生活改善推進員 の活動		健康松戸 21 応援団		まつど健康 マイレージ		夜間小児 救急センター	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全年代	5.1	12.5	4.0	3.4	18.0	31.4	32.7	49.1
20 歳代	6.1	8.9	15.2	6.7	45.5	24.4	36.4	55.6
30 歳代	0.0	3.1	0.0	2.1	12.2	35.1	56.1	67.0
40 歳代	1.1	8.8	4.5	3.8	12.5	29.4	51.1	63.1
50 歳代	3.7	11.3	3.7	7.5	13.6	40.6	32.1	54.1
60 歳代	4.2	14.6	2.5	2.7	17.8	29.2	28.8	44.3
70 歳以上	8.2	17.9	3.9	1.5	19.0	29.5	23.3	34.0
全体	9.5		3.6		26.1		42.5	
前回調査 (全体)	11.0						39.1	

単位=%

	休日土曜日夜間 歯科診療所		救急医療 テレフォン サービス	
	男性	女性	男性	女性
全体	20.7	34.7	13.5	26.9
20 歳代	21.2	15.6	15.2	8.9
30 歳代	9.8	29.9	7.3	22.7
40 歳代	21.6	40.0	12.5	33.8
50 歳代	25.9	43.6	25.9	32.3
60 歳代	18.6	40.0	11.0	28.6
70 歳以上	21.6	28.4	11.6	23.5
全体	29.1		21.5	
前回調査 (全体)	28.6		23.6	